

2016年5月19日(木) @ウインクあいち
トヨタNPOカレッジ「カイケツ」第1回

本講座に期待すること ～想定される未来から 逆算した事業づくり～

公益財団法人あいちコミュニティ財団
コミュニティ・ユース・バンクmomo
木村真樹（きむら・まさき）

masaki@kimura-office.net

地域内“志金”循環モデル構想

市民のお金を地域で循環させる
セーフティネット、地域再生

地域への再投資

NPO 等

委託・補助

助成・活動支援

融資・活動支援

融資

行政

市民コミュニティ財団

NPO バンク

地域金融機関

会費・寄付

寄付(税制優遇)

出資

事業収入

預金

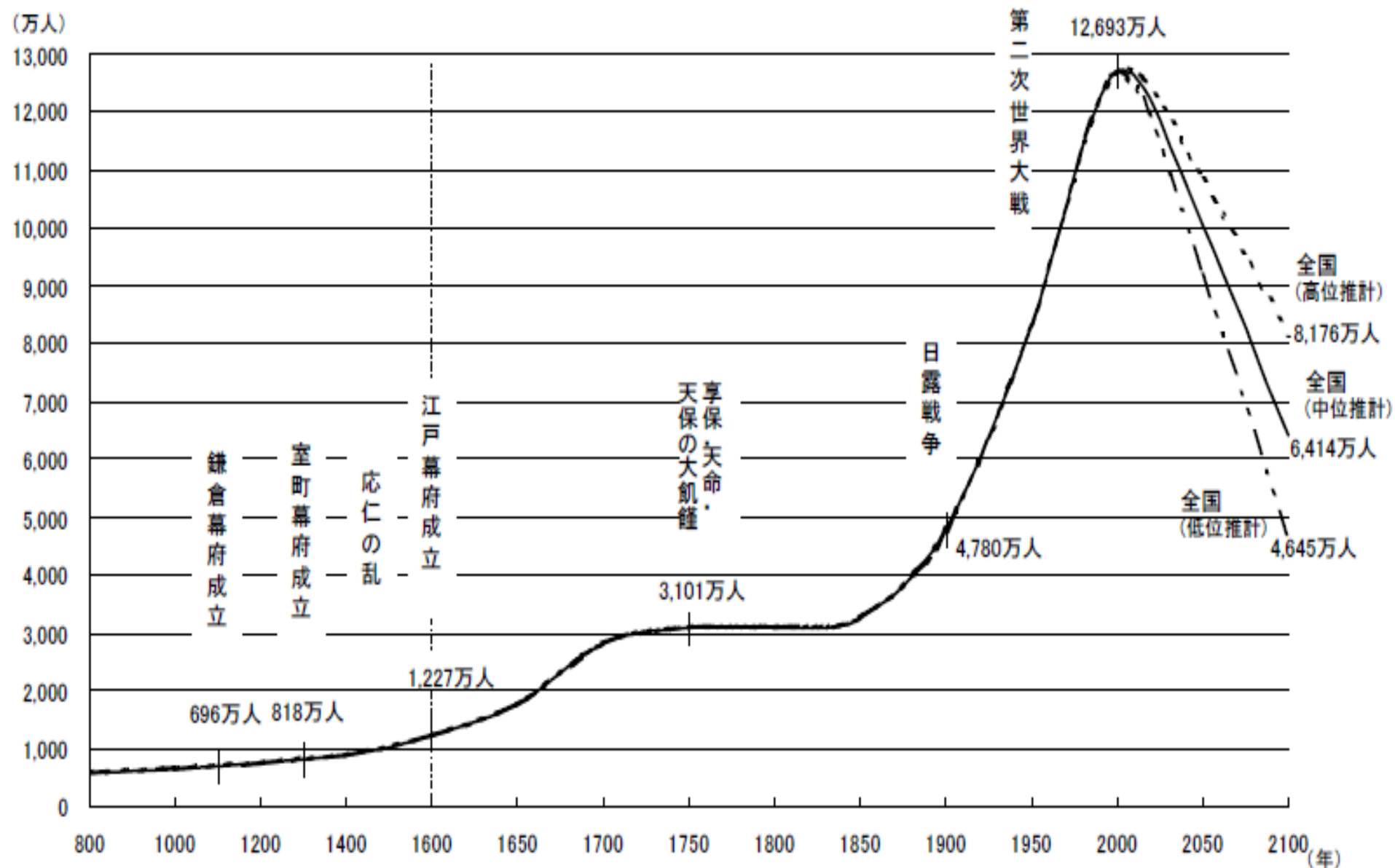
納税

市民・地域企業

参考：「名古屋市民活動促進基本方針」（2011年12月） / 図 資金が地域で回る仕組みのイメージ（例：市民ファンドの場合）

年間 4～5 千万円の資金支援 & 360名強による伴走支援

総人口の長期的推移



(出典) 総務省「国勢調査報告」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」及び国土庁「日本列島における人口分布変動の長期時系列分析」(1974年)をもとに国土交通省国土計画局作成。

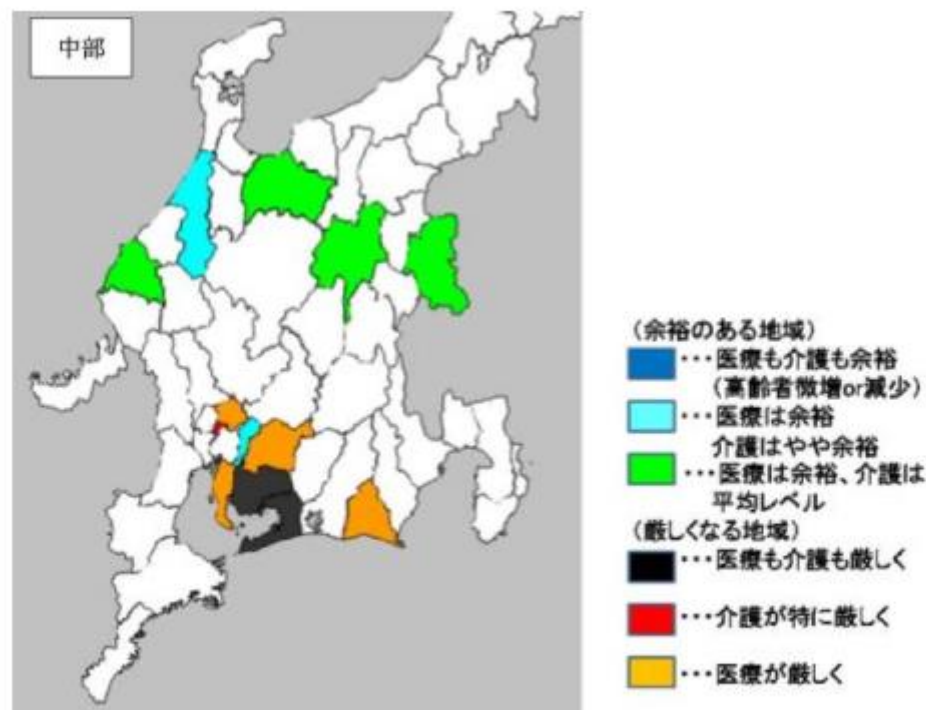
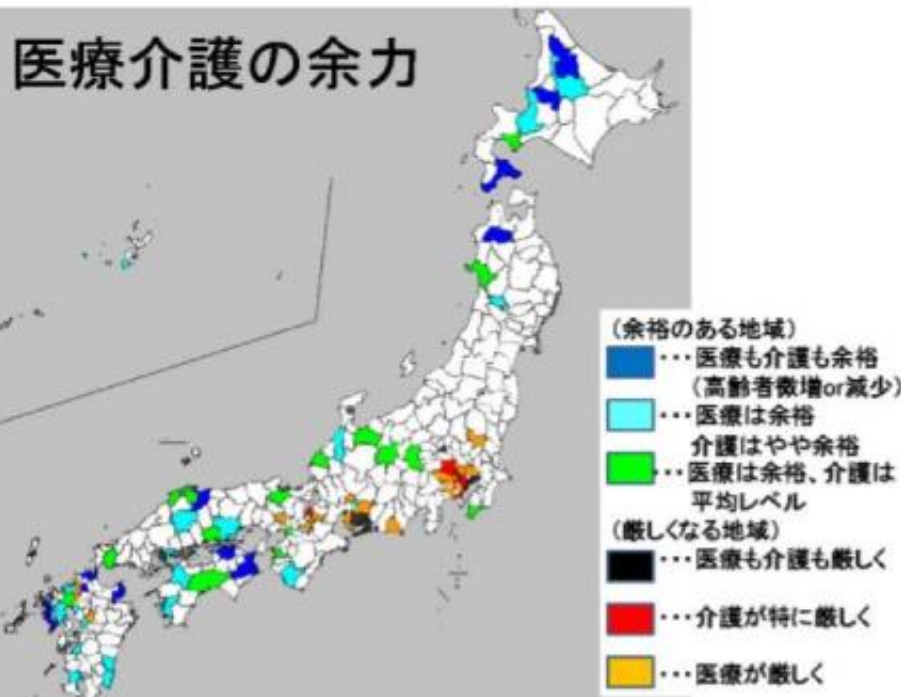
(注) 1950年以前は国土庁資料を、2000年は「国勢調査報告」を、2050年及び2100年は「日本の将来推計人口」を用いた。

75歳以上は80%を超える54万人増

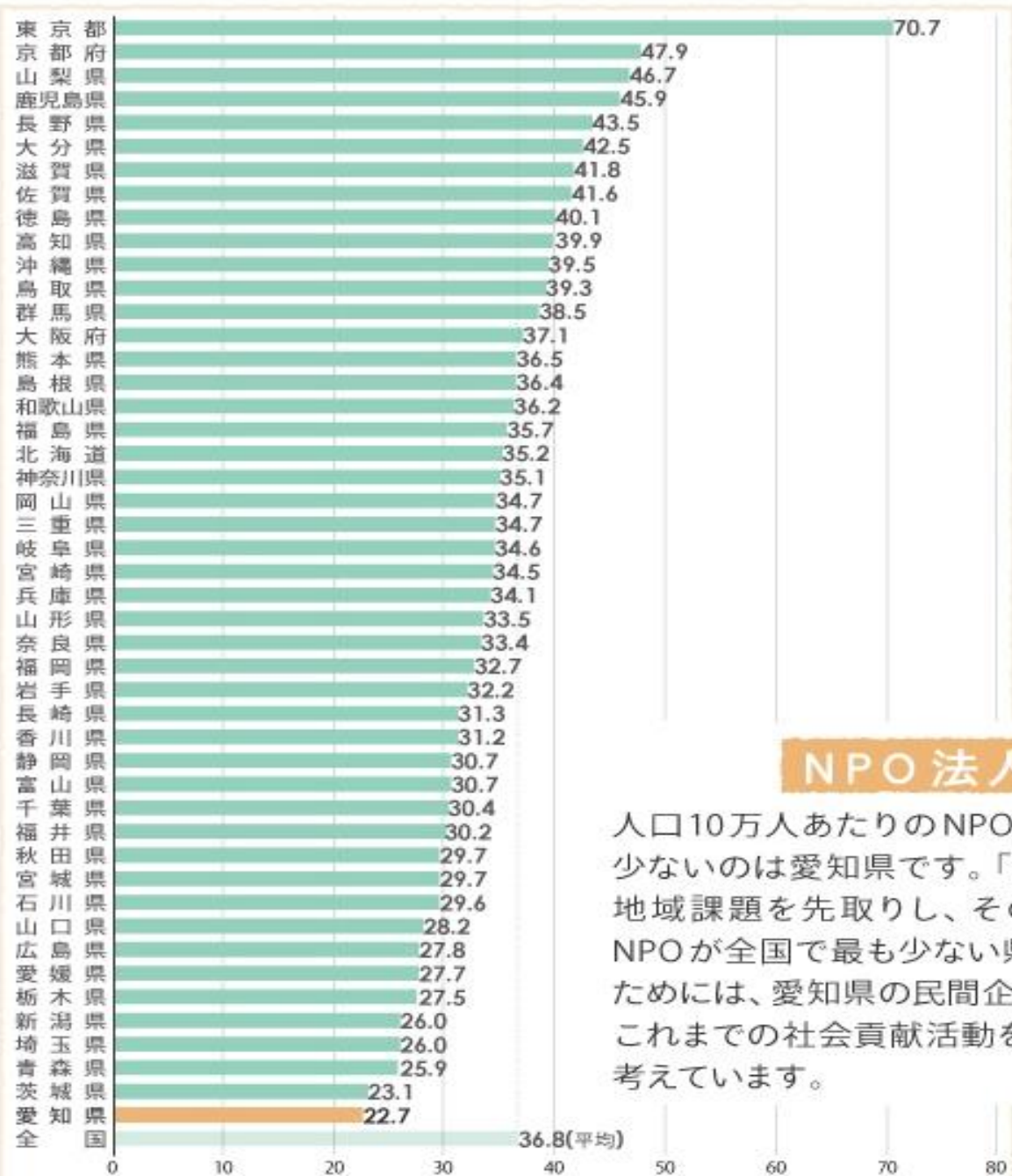
愛知県

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総数	100.0	100.8	100.4	99.2	97.3	95.1	92.5
0～14歳	100.0	96.7	91.2	84.6	78.3	75.0	72.8
15～64歳	100.0	96.1	94.3	93.1	90.6	86.1	79.8
65歳以上	100.0	118.8	126.7	129.0	132.5	138.1	147.4

〈図表 3-20〉医療・介護サービスの偏在 (2040年時点)



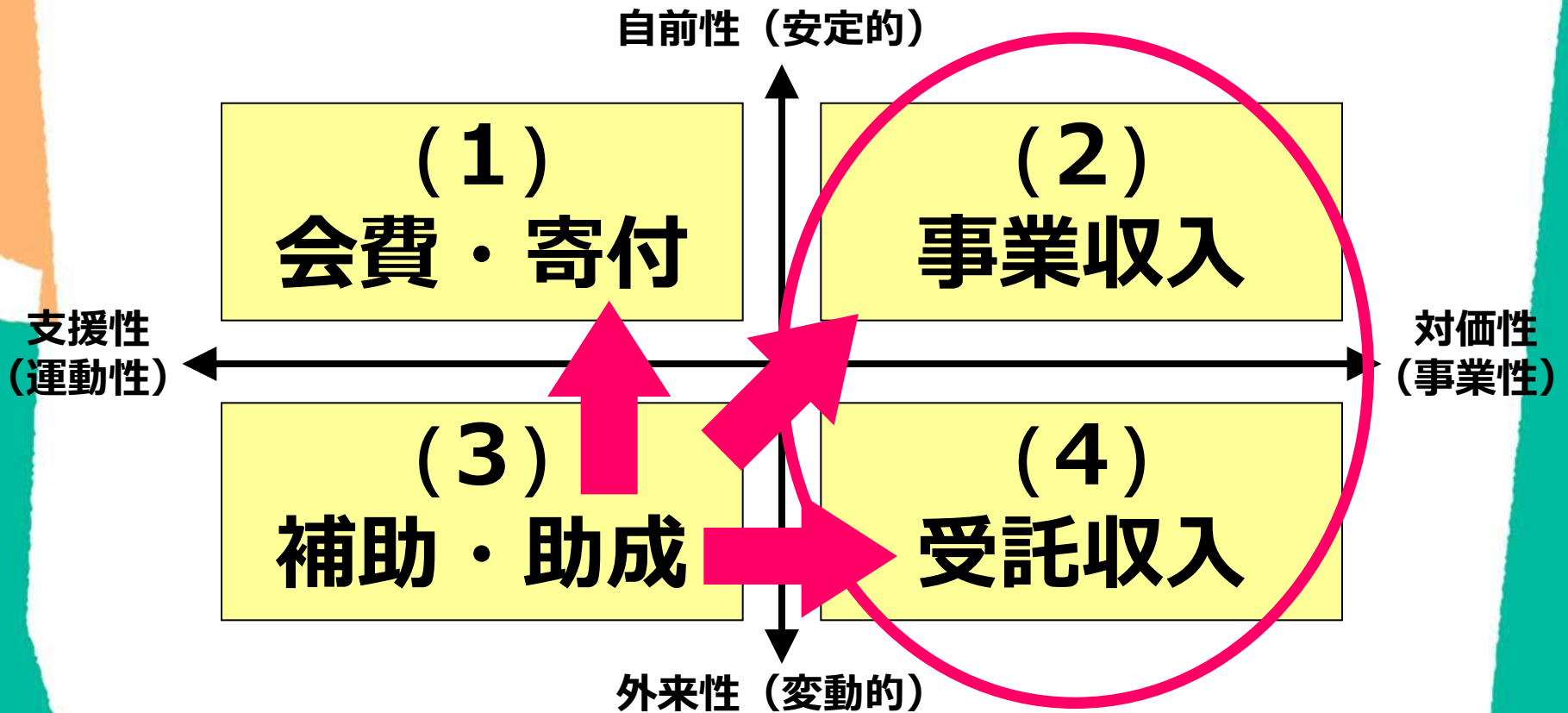
(出所) 2013年4月19日、第9回「社会保障制度改革国民会議」 資料3-3より引用



NPO法人数(人口10万人あたり)

人口10万人あたりのNPO法人数が47都道府県で最も少ないのは愛知県です。「企業や行政が気づいていない地域課題を先取りし、その解決に挑む人たち」であるNPOが全国で最も少ない県で、これからの変化に備えるためには、愛知県の民間企業も、寄付やボランティアなど、これまでの社会貢献活動を見直す必要があると私たちは考えています。

NPOの“志金”源



“日本語指導が必要な
外国人児童生徒数は
5,623人”

全国最多

(2010年)

名古屋市内の施設支援により
就職した精神障害者

1年間で

700人に1人

(2012年度)

愛知県の
若年無業者数は

29,000人

(2012年)

愛知県の
中学生の不登校生徒数は
6,093人、小学生は1,644人。

ひきこもりは推定

16,600世帯

(2012年)

名古屋市の児童相談受付
件数の内、3歳以下の子
育ての悩みは

約28%

(2012年)

名古屋市内16区のうち、
アレルギー患者を
支援する会がない区は

11区

(2012年)

春日井市の
核家族世帯数

76,000世帯超

(2010年)

愛知県内の不良少年数

(飲酒、喫煙、けんか、その他自己又は、他人の権利を害する行為をしている少年)

70,000人以上

(2012年度、愛知県警察少年非行統計より)

名古屋市の
生活保護受給世帯の
子どもの高校進学率は

86.8%

(2012年)

あいちの課題を「定量化」

あいち「見える化」ウェブ

あいちの地域課題を知る。
その解決に挑むNPOがわかる。



本サイトでは、公益財団法人あいちコミュニティ財団の助成先が解決に挑んでいる「地域課題」と「その解決策」を紹介しています。

[あいち「見える化」ウェブとは？](#)

[あいちの地域課題を知る](#)

[解決に挑むNPOを見つける](#)

[解決策に参加する](#)

[お問い合わせ](#)

近頃のあいちの課題

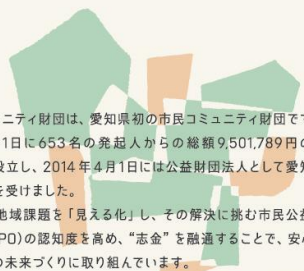
▼名古屋市に住む児童・生徒の約1,000人に2名が重度・重複障がい児

名古屋市に住む児童・生徒の
約**1,000**人に**2**名が
重度・重複障がい児

自分で歩いたり、座ったりすることが難しく、思うように動くことができない子どもたちがいます。また、食事を自分で食べ

カテゴリー別あいちの課題





あいちコミュニティ財団は、愛知県初の市民コミュニティ財団です。2013年4月1日に653名の発起人からの総額9,501,789円の寄付により設立し、2014年4月1日には公益財団法人として愛知県から認定を受けました。愛知県内の地域課題を「見える化」し、その解決に挑む市民公益活動団体(NPO)の認知度を高め、「志金」を融通することで、安心できる地域の未来づくりに取り組んでいます。そして、暮らしづらさや生きづらさを抱えた当事者がその解決をあきらめてしまうのではなく、問題の当事者だからこそ解決策の担い手になれる。そんな選択ができる社会を次世代に遺すことを目指しています。

公益財団法人
あいちコミュニティ財団
<http://aichi-community.jp>

『あいちの課題深掘りBOOK』2014 制作スタッフ
浅井文崇、芦田繁樹、池田哲也、石垣智徳、浦倫彰、小川哲司、奥田道彦、小野健太郎、春日俊夫、加藤栄司、北原早知子、窪田祐一、小池幸司、榊原和貴、笹岡実希子、佐藤玲子、杉本憲彦、杉山晃一、鈴木亮太郎、高田一樹、谷口利典、内藤達彦、丹羽輝明、長谷川友紀、平田亘史、水谷泰啓、水野秀哉、御船大輔、宮原知沙、矢澤宏明、山田友美

発行人
木村真樹 (公益財団法人あいちコミュニティ財団 代表理事)

デザイン
ORGAN デザイン室

『あいちの課題深掘りBOOK』2014
2015年8月1日 第1刷
発行者
公益財団法人あいちコミュニティ財団
〒461-0002 愛知県名古屋市長区代官町39-18
日本陶磁器センタービル5F 5-D号室 NPO法人中部リサイクル運動市民の会内
tel: 052-936-5101 fax: 052-982-9089
e-mail: office@aichi-community.jp

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上認められている場合を除き、禁じられています。本書のデータやフレーズを引用する場合は、必ず出典を明記いただき、公益財団法人あいちコミュニティ財団にお知らせください。



2014年度年次報告書



あいちの地域課題を知る。
その解決に挑むNPOがわかる。
～次世代につむぐ
「あいち」ならではの24の物語～

あいちの
課題

BOOK
深掘り

2014



“志金”を集める力をつける

あいちコミュニティ財団 NPOの成長段階別プログラム

次世代に語る、あいちならではの
“物語”をつむぎ出す

イ ◆ リ バ

助成事業の物語をつむぐ
ボランティア「ツムギスト」



事業指定プログラム

ミエルカ

冠プログラム
「カムリ」

Jump

あいちの課題

深掘りファンド



Hop

連携委員会

「モチヨリ」

あいちの課題を深掘りする
ボランティア「モグラ」等

Step

- 外国にルーツを持つ
子ども応援基金 in あいち
- 東海ろうきん 傍楽ファンド
- NDS 感動基金
- 名フィル子どものエール基金
- 住友理工あったか未来基金

ドネーションパーティ!

NPOの“志金”調達を
応援するボランティア
「フレンドレイザー」等

あいち・なごや子どもとつくる基金

カンパイヤリティの普及啓発に取り組むボランティア「ママボノ」

2016年
4月現在

全国域の助成機関との連携

トヨタNPOカレッジ「カイケツ」キックオフシンポジウム

トヨタの組織マネジメント『問題解決』でNPOの成長を後押し



カイケツ

2016.3.1 (TUE) 14:00-17:00

@トヨタ自動車株式会社 東京本社 地下大会議室 東京都文京区後楽 1-4-18

公益財団法人トヨタ財団（会長・奥田碩）は今年 5 月、トヨタ自動車の協力を得て、NPO など非営利団体の皆さんにトヨタの組織マネジメント『問題解決』を学んでいただく連続講座「トヨタNPOカレッジ『カイケツ』」を開講します。

製造業にとって当たり前前のPDCAをNPOに

予測される未来から逆算した事業づくり



- NPO：絆（東浦町）、PakaPaka（武豊町）
- 行政：半田市 ● 社協：半田市社協
- 中間支援組織：地域福祉サポートちた
- 医療機関：南医療生協 ● 大学：日本福祉大学